

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成30年度第1回 第4分科会（教育分野）
日時	平成30年9月28日（金） 午後1時30分～午後4時20分
場所	江南市役所 3階 第3委員会室
出席者	市民委員 長尾 恵利世、橋本 禎枝、三輪 専治、森崎 芳子、伊藤 鶴吉、佐藤 美恵子、 仙田 幸代、坪内 利男
	市職員 稲田 剛、中村 雄一、伊藤 勝治、可児 孝之、伊藤 健司
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり会議について 2. まちづくり評価の結果について 3. その他（第2回の会議日程について）
資料	資料1 江南市まちづくり会議委員名簿（平成30年度） 資料2 今年度（平成30年度）のまちづくり会議について 資料3 戦略計画達成状況報告書【中期計画期間（平成23年度～平成25年度）】 資料4 まちづくり評価シートの確認方法について 資料5 まちづくり評価【Ⅳ 教育分野】

◆ 会議結果 ◆

- ・会議の開催にあたり、市長よりあいさつがありました。

1. まちづくり会議について

- ・まちづくり評価について、資料2及び4に基づき、秘書政策課主幹、企画グループリーダーより説明がありました。

2. まちづくり評価の結果について

【柱1】地域に開かれた快適で安全な学校づくり

- ・資料5に基づき、委員（教育課長・教育課統括幹兼南部給食センター所長）より説明がありました。

【個別目標①】児童・生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

- ・学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合について、目標値を達成できるよう、市はどのような取り組みを行っているのかとの質問があり、児童生徒を対象に「学級満足度調査」を実施し、学校ではその分析結果を踏まえた指導を行っている。また、全ての小中学校に心の教室相談員1名を学校に配置し、児童生徒からの相談に対応しているとの説明がありました。
- ・個別目標の指標と比較し、全体目標の指標の実績値は低くなっているが、理由は何かとの質問があり、個別目標の指標は、児童生徒を対象とした調査で測定しているが、全体目標の指標は、18歳以上の市民を対象とした市民満足度調査において測定しており、対象となる回答者が異なることも原因の一つではないかとの説明がありました。
- ・小中学校のトイレの洋式化及び、エアコンの設置は急務だと考えているが、進捗状況はどのようになっているのかとの質問があり、トイレ改修に伴う洋式化は、小中学校15校のうち5校で終了しており、残り10校は、国の交付金を前提とし、平成33年度までに完了したいと考えている。エアコンは、音楽室や保健室、図書室などの特別教室には設置がされているものの、普通教室には設置がされていないこと

から、設置工事を、小学校については平成 31 年度に、中学校については平成 32 年度に、実施できるように進めていきたいとの説明がありました。

〔個別目標③〕 バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている

- ・地場産物の内容について質問があり、食材を選定する際には、給食用物資選定委員会を開催し、なるべく市、県、国内産の優先順で購入するよう努めている。また、学校給食における地場産物の割合は、県内産までを対象とし、その割合を算定している。江南市産の食材としては小松菜、大根、ほうれん草が該当しているとの説明がありました。

〔柱 2〕 将来にわたって活躍できる人づくり

- ・資料 5 に基づき、委員（教育課長）より説明がありました。

〔個別目標②〕 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子供たちが育っている

- ・適応指導教室「Y o u ・輝」に通っている児童生徒は何名かとの質問があり、29 年度は 25 名が通っていたとの説明がありました。
- ・学校で悩み相談ができない児童生徒への相談には、どのように対応しているのかとの質問があり、小中学校へ広報用カードを配布し、市の適応指導教室や少年センターで、電話などでの相談を行っている。また、国や県も電話などでの相談の場を設け、相談に対応しているとの説明がありました。

・〔柱 3〕 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり

- ・資料 5 に基づき、委員（生涯学習課長、スポーツ推進課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

- ・生涯学習講師人材バンクについて、沢山の人に登録していただきたいとの意見があり、多くの人に制度を知ってもらえるよう、PR に努めていくとの説明がありました。
- ・今の図書館は古い本が多く、借りたい本があまりないように感じているが、新図書館ができるまでの間、一人当たりの図書等の貸出点数を増やせるよう、どのように取り組んでいくのかとの質問があり、予算の範囲内で本の購入を行っているものの、12 万冊の蔵書があり、利用者に納得してもらえるような入替が難しいのが現状であるが、貸出点数を増やすよう、取り組み内容を引き続き検討していくとの説明がありました。
- ・布袋駅東複合公共施設への新図書館の整備に伴い、現在の図書館の建物はどうするのかとの質問があり、他の公共施設に転用するのか、取り壊すのか決まっていないとの説明がありました。
- ・人口が多い古知野地区にも図書館を設置してほしいので、布袋駅東複合公共施設に移転する保健センターの建物を活用してはどうかとの意見があり、新たに図書館の分館を設置することは難しいと考えており、配本サービスの充実や公民館などの公共施設に分室を設けるなど、市民が図書館を利用しやすいよう、サービスを検討していきたいとの説明がありました。
- ・布袋駅東複合公共施設に整備する図書館には、学生が利用しやすいよう、学習スペースを設けるとともに、車で行く人が不便にならないよう、駐車場の設置に配慮してほしいとの意見がありました。

〔個別目標②〕 市民が、身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

- ・プールの建設について質問があり、市の財政計画もあることから、当面建設の予定はないとの説明がありました。

〔個別目標③〕 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

- ・男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合が昨年度に比べ、大きく下がっているが、その理由は何かとの質問があり、昨年度は、特にハッピーライフ講座の参加者が減っているため、PR の充実や講

座内容について考慮するよう、現在の担当課である市民サービス課に伝えるとの説明がありました。

・〔柱4〕豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実

- ・資料5に基づき、委員（生涯学習課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕市民が、文化芸術活動を積極的に行っている

- ・文化活動について、特に若い方の関心が低いと感じており、学校のクラブ活動と連携するなど、文化を身近に感じられるよう、種まきが必要ではないかとの意見がありました。
- ・市民文化会館について、市が大きな行事を開催する際、駐車場の混雑が著しいので、中央公園を臨時駐車場として積極的に活用してほしいとの意見がありました。
- ・公民館フェスタの参加者の減少や、美術展の出品数などの伸び悩みなどが続いている中で、市の文化や芸術が盛り上がるよう、公民館フェスタと美術展との同時開催などの方策を考えてほしいとの意見があり、公民館フェスタは、そのあり方についてアンケートを実施し、よりよい方法を検討していきたいと考えている。また、美術展は今年度より、小中学校の部と一般の部を同じ期間で開催し、若い方にも興味を持ってもらえるよう、開催方法の見直しを行ったとの説明がありました。
- ・市民文化会館について、準備のために早朝も利用できるよう検討してほしいとの意見があり、指定管理者に要望を伝え、モニタリングで協議をしたいとの説明がありました。また、このことについて前延長制度があるので、活用されてはどうかとの意見がありました。

4. その他（第2回の会議日程について）

- ・議事がすべて終了したため、第2回の会議は開催しない旨事務局より説明がありました。
- ・12月26日に開催予定の全体会議について、事務局より説明がありました。